

## 令和7年度市民提案型事業補助金 活動内容紹介（HP公開用）

団 体 名	社会福祉法人聖徳園 あしや聖徳園
事 業 名	地域の介護力と福祉力の向上を目指して～みんなで支える在宅介護～
実施場所	Community Space ふらっと 芦屋市朝日ヶ丘町 6-9-1F
実施期間	【準備期間】令和7年10月～令和8年3月 【実施日】令和7年11月～令和8年3月
事業の目的	進み続ける高齢化に対応して、芦屋市全体で深刻化している「在宅介護を担う人の不足」や「高齢者の孤立」といった課題を、地域のみなさんと一緒に解決していくことを目的とする。
事業実施の内容 (活動実績)	<p>地域における在宅介護の担い手不足や介護者の孤立といった課題に対し、「みんなで支える在宅介護」をテーマに、全5回の連続セミナーを開催しました。各回では、専門職による講話だけでなく、参加者同士の対話やグループワークを取り入れ、住民と専門職が互いの立場や経験を共有しながら学び合う場を創出しました。</p> <p>また、介護を「特別なもの」ではなく「地域の中で支え合うもの」として捉え直すことを重視し、日常生活の中でできる関わりや支え合いの形について具体的に考える機会としました。その結果、参加者同士のつながりが生まれ、講座終了後には、地域での支え合い活動（ケアラズカフェ等）の立ち上げに向けた動きへと発展しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募して良かった点</li> <li>・ 事業実施に当たり工夫した点</li> <li>・ 反省点など</li> </ul>	<p>この事業に応募したことで、これまで個別に活動していた住民や専門職がつながり、「地域で支える」という共通の目的のもとで関係性を築くことができました。補助金を活用することで、継続的な学びの場を安定して開催できた点も大きな成果です。</p> <p>工夫した点としては、一方向の講義形式ではなく、対話やグループワークを中心とした参加型のプログラムとしたことです。これにより、参加者自身が主体的に考え、発言し、関係性を築くことができる場づくりを意識しました。また、専門職と住民が対等に関わることができるよう、雰囲気づくりにも配慮しました。</p> <p>一方で、参加者の継続的な関わりをどのように広げていくか、また新たな参加者の獲得に向けた周知方法については課題が残りました。今後は、今回生まれたつながりを基盤に、誰もが気軽に参加できる場づくりや継続的な活動へと発展させていきたいと考えています。</p>

<p>活動時の写真 (4枚以内)</p> <p>※( )内に写真の説明を記入してください</p>	<p>① (5回目 修了式 これからみんな地域へGO! )</p>	<p>② (2回目介助の安全な実践方法を学ぶ)</p>
		
	<p>③ (4回目 やわらか食について学ぶ 見た目はみんな一緒!)</p>	<p>④ (1回目 在宅介護の基礎と心構えを学ぶ)</p>
		